

宗内寺院紹介 **35**

円龍山
光明院

興
禪
寺



寺伝によると、文徳天皇仁寿三年（八五三）天台座主慈覚大師円仁和尚が東国下向の折この地に錫を留め、十一面観音菩薩と將軍地藏の尊像を彫まれ安置されたのが開山と伝えられる。本尊十一面観音は安産観音として往昔より吞み御符を授け婦女子の苦痛を救っている。度々の戦禍で壮大な伽藍を失う。元応二年（一三二〇）時の領主桃井播磨守直常により再建復興され文化三年（一八〇六）二十二世證淵代に密教造りの本堂に改築され、昭和の初めに入母屋式重層破風造りに改装された。准秩父観音霊場札所、武相不動尊札所、地藏尊、薬師尊等の札所に、また新年は横浜七福神詣で多くの参拝者がある。写真は横浜興禪寺雅楽会、境内の仮設舞台での演奏。

①葉王殿(左)と本堂(右) ②山門 ③横浜興禪寺雅楽会の演奏
④福祿寿 ⑤参道

円龍山 興禪寺
光明院

住 所 / 〒223-0063 横浜市港北区高田町1799

電話番号 / 045-591-1340